

芦屋の未来を創る 予算編成

一般会計は、423億9,324万円で9.6%の減少

財政課 ☎38-2011



歳出の主な減少理由

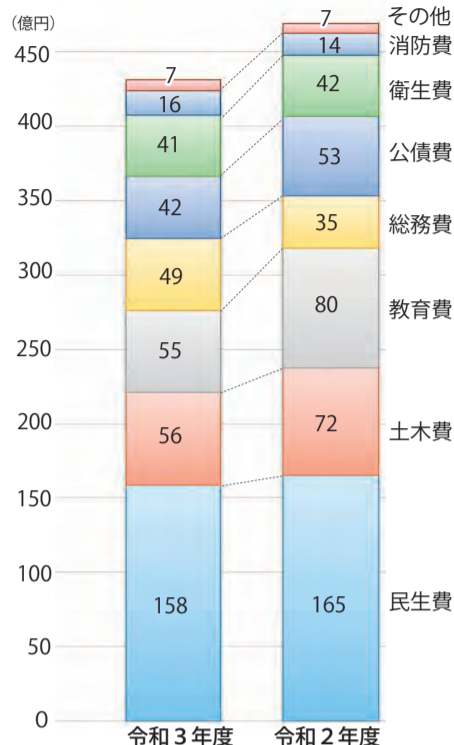
令和2年度に、2つの中学校の建替事業(精道・山手)と2つの認定こども園(精道・西蔵)の建設事業が重なり、建設費が大きくなっていましたが、令和3年度は精道中学校の整備を残すのみとなり、歳出総額は減少しています。

- 民生費 令和3年4月開園の市立認定こども園(精道・西蔵)の整備事業完了により減少
- 教育費 山手中学校施設整備事業の完了および精道中学校建替工事(令和4年度完了予定)の進捗により減少

歳入の主な減少理由

新型コロナウイルス感染拡大の影響による個人市民税と法人市民税の減収や国の税負担軽減措置による固定資産税の減収によって、市税が約4.7億円減少するほか、精道・山手中学校施設整備や認定こども園施設整備事業費の減少に伴い市債の借入れが減少しています。

一般会計歳出



令和3年度予算

区分	予算額	増減率(%)
一般会計※	423億9,324万円	△9.6
特別会計	227億3,124万円	△3.9
国民健康保険事業	104億3,300万円	△1.6
公共用地取得費※	7,800万円	△54.9
都市再開発事業※	1億9,724万円	9.5
駐車場事業	4,900万円	△1.0
介護保険事業	93億9,600万円	△8.4
後期高齢者医療事業	25億7,800万円	7.4
企業会計	144億5,984万円	1.9
病院事業	67億4,122万円	△0.3
水道事業	36億1,374万円	13.1
下水道事業	41億488万円	△3.0
財産区会計	1,050万円	△8.7
合計	795億9,482万円	△6.1

※一般会計・公共用地取得費特別会計および都市再開発事業特別会計については、予算案修正後の金額となっています。

令和12年度までの財政収支見込み

収支の状況

以下の表は、令和4年度から令和12年度までの、市税などの一般財源額(歳入)と、その一般財源でまかなうべき経費(歳出)、歳入歳出差引額(△の場合は収支不足額)と基金残高の見込みを示したものです。

社会保障関係経費の増加に加え、インフラ施設や公共施設の老朽化対策等が今後も必要となることから、令和12年度までの収支不足額の合計は65億円となる見込みです。この不足額は基金で補てんすることになります。

【収支の見込み(一般財源ベース)】

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
歳入	277	273	270	288	273	270	266	266	264	-
歳出	295	276	294	283	279	275	266	272	269	-
歳入歳出差引	△18	△3	△25	5	△6	△5	0	△7	△6	△65
基金残高	89	85	61	66	60	55	55	48	※43	-

(端数調整により歳入歳出差引が一致していない箇所があります)

※令和12年度の基金残高43億円は、行財政改革の影響額45億円を反映した金額です。

これからの財政運営

現状の収支見込みのまま何ら対策を講じなければ、10年後の基金残高がマイナスとなるおそれがあることから、そのような状況を回避するために、令和3年度から行財政改革を進めるとともに、歳入確保(市税等の徴収率のさらなる向上や新たな財源の確保)や歳出抑制(事業の優先順位付けによる経費の抑制、効率的な組織体制の構築)の取り組みをより一層進めてまいります。

- ◆「第4次地域福祉計画」の策定
- ◆山手中学校への耐震性貯水槽の整備
- ◆災害時における正確かつ迅速な生活再建支援に資するシステムの構築
- ◆潜水隊の発足

人々のまちを大切に 心や暮らし方をまちなみに つなげる

◆合葬式墓地の運用・新管理棟での業務の開始(8,978万円)

芦屋市霊園合葬式墓地および管理棟の建設事業を令和元年度、2年度に引き続き行います。令和3年6月に完成し、7月に開設予定です。

◆ごみ処理施設における長期包括的運營業務委

託の開始(7億754万5千円)

令和3年度から11年度にかけ、環境処理センターの焼却施設およびパイプライン施設において、長期包括的運營業務委託を採用することにより、業務の効率化と経費の削減を図ります。

- ◆16回目を迎える「オープンガーデン2021」の開催
- ◆街路樹の包括的管理業務委託の導入の検討
- ◆さくら参道における電柱の抜柱に向けた電線管理者との調整
- ◆指定ごみ袋導入の検討
- ◆第一跨線橋など修繕が困難な橋梁における地域や関係機関との協議
- ◆JR芦屋駅南地区市街地再開発事業
- ◆上宮川住宅に係る駐輪場の整備工事の実施
- ◆空家実態調査の実施
- ◆芦屋下水処理場の雨水ポンプ更新工事および南宮ポンプ場の沈砂池耐震補強工事の実施

◆「中小企業・小規模企業振興基本計画」の策定

人々と行政のつながりを まちづくりにつなげる

◆テレワーク環境の整備(3,881万円)

本市職員のテレワーク環境を構築し、在宅勤務を可能とすることで、新型コロナウイルス感染症拡大防止と働き方改革を推進します。

- ◆公益通報およびハラスメント対応における弁護士による外部窓口の相談員の設置
- ◆事業期間を2年間に延長した市制施行80周年記念事業の実施
- ◆「自律的な業務改善組織への変革プロジェクト」の着手
- ◆第5次総合計画と第2期創生総合戦略の一体的な推進

